



学校法人 帯広葵学園

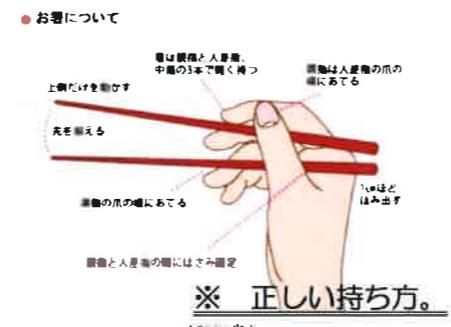
所長 外館 昭良

おはしのはなし

日本が世界に誇れる文化の一つに『おはし』が入っていると思います。最近ではテレビで他国の方も『おはし』を上手に使って食事をする姿を見かけますが、ほんの少し前までは他国の方にとって『おはし』を使って食事をするのは大変難しい事だったように記憶しています。子ども達には、この日本特有の大切な文化を後世に残すためにもぜひ『おはし』を上手に使いこなせるようになってほしいと思っています。

しかし、『おはし』を使いこなせるようになるにはトレーニングが必要ですね。『おはし』のトレーニングを始めるには、お子様が『おはし』を使うための手の機能がある程度まで発達していなければ習得する事は難しいと言われています。『おはし』を使う基本的な機能として、

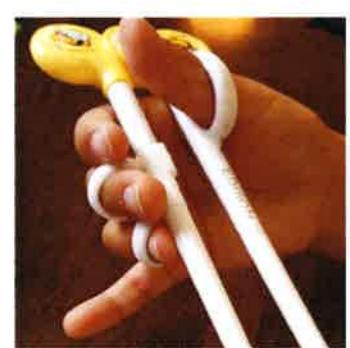
- ① グー、チョキ、パー や、OK サイン (・) ができる。
- ② 手でピストルの形 (△) ができる。
- ③ 親指から小指まで順番に指を曲げることできる。
- ④ 靴を履ける。
- ⑤ ボタンをはめられる。
- ⑥ 容器の蓋を開けられる。
- ⑦ 3本指で鉛筆を正しく持てる。(指先で物をつまめる事が大切。)



このような動作(機能)ができるようになりトレーニングを始めることで成果が見られるようになると言われています。最近では、『おはしの補助具』が売られていますが、補助具については賛否が分かれていますね。

補助具は手や指に何らかのハンディがあり『おはし』を持つことが困難な状態の方に使用することで、自分で『おはし』を持って食べることができる場合があるのでとても良い道具だと思います。

補助具を用いたトレーニングに関しては、子ども達の実態を見て感じのですが、リング状の補助具についている物は、一見『おはし』を持っているように見えますが、補助具のリングに頼ってしまい『おはし』を指先でつまんでいない様子が見られます。従って、リングを外した場合、『おはし』を指先でしっかりと持ち開閉する動作が難しいように感じます。
←(※写真のように、リングに指を入れているが『はし』本体をつかめていない。さらに持ち方が間違っていることもある。)



それゆえに、①~⑦上記のような手先の機能の発達が見られる場合、補助具の使用から卒業できるよう援助していくことが大切だと思います。トレーニングをする時は、反復練習は必要ですが過剰にならないように気を付けて、お子様が自分からやってみようと思えるように、ほんの少しでも出来たらたくさん褒めて励まして自信を付けさせてあげることがとても大切ですね。そして、楽しく食事をする事が一番大切ですね♪

<9月 あんなこと、こんなこと>

<東土狩>



<南中音更>



<西中音更>



おじいちゃんおばあちゃん
お月見● お団子を作って食べました！
お手紙ですよ！

お兄ちゃん、がんばれ！
マラソン大会

<<秋から冬に、気を付けたい感染症>>

猛暑だった夏が終わり、すっかり秋らしくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、今時期、季節の変わり目に気を付けたいのが『感染症』ですね。この時期に特に気を付けたいのは、『RSウイルス感染症』『インフルエンザ』『ロタウイルス感染症』『ノロウイルス感染症』『溶連菌感染症』などですね。

溶連菌は細菌の感染症で、他は全てウイルスによる感染症です。予防するには、いずれも手洗い、うがいが一番良いと言われています。保育所でも手洗い、うがいを強化していきたいと思います。

- RSウイルス感染症は、発熱、鼻汁、咳、喘鳴(ゼイゼイ、ヒューヒュー)、呼吸困難、気管支炎、肺炎
- インフルエンザは、38度以上の発熱(まれに低い事もある。)、発熱、関節痛、筋肉胃痛、倦怠感、
- ノロウイルス感染症は、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
- ロタウイルス感染症は、突然の嘔吐、発熱、腹部の不快感、白色または黄白色の水溶性の下痢
- ※ノロ、ロタともに感染力が強く、少量のウイルスで感染が成立する。ウイルスは、2~3週間便の中に残る。
- 溶連菌感染症は、2~5日の潜伏期間を経て発熱、咳、のどの痛み、舌に発疹や扁桃腺腫れる場合がある

いずれの感染症も、一旦流行すると、なかなか終息しない厄介な病気です。お子様の様子がいつもと違う元気がなく、熱が出ている場合は医師に必ず診てもらうようにしましょう。2次感染を防ぐためにも感染症にかかる場合は、無理をさせずに完治するまで、お休みさせることが大切ですね。皆様のご協力をお願い致します。

